巻頭特集 行田のまちに笑顔が集まる花手水ｗｅｅｋ誕生ストーリー

はなちょうず 花手水に込める もてなしの心

新型コロナウイルスの影響で自粛生活が続く昨年４月、行田八幡神社で始まった花手水。やがて、その取り組みは地元の商店や民家にも広がり、行田市の新たな観光名所として定着しつつある、行田『花手水ｗｅｅｋ』の誕生秘話に迫る。

行田八幡神社をはじめ、市内の50カ所以上で楽しめる花手水。創意工夫を凝らした美しい花々が、人々の心を穏やかにする

コロナ禍で生まれた新しい形の癒しスポット

水面に浮かぶ、カラフルな花々に心を癒される花手水。行田八幡神社から行田市中心街へと広まった、行田『花手水ｗｅｅｋ』をご存じだろうか。

平安時代の武士、源頼義や義家が奥州討伐のためこの地に滞陣した時に、戦勝を祈願して勧請されたのが始まりだと伝わる行田八幡神社。天文年間（１５３２年～１５５５年）には、同社を崇敬していた忍城の城主、成田下総守長泰公が社殿を修補し、城下総鎮守に定めたところから、「城主八幡」とも呼ばれるようになった。

がん封じやぼけ封じ、虫封じなど、古くから病魔を閉じ込める封じの宮として人々に親しまれてきた同神社。コロナ禍でも熱心に参拝に訪れる人々の様子を間近に見ていた同神社の神職たちは、「参拝に訪れる方々に癒しを提供したいと、境内に花手水を飾るようになりました」と同神社の禰宜、松岡宏聡さんは振り返る。心が沈みがちになっている時代だからこそ、色鮮やかな花を愛で、安らかなひとときを過ごしてほしい。そんな思いから京都の寺や神社に倣い、境内の数カ所に花手水を配置した。

地元の生花店が腕をふるった同神社の花手水は、参拝者の発信するＳＮＳを通じて全国へ拡散。ＳＮＳ映えするスポットとして、若い世代の注目も集めた。この取り組みは、市内の前玉神社にも広がり、参拝者の心を癒していく。

２つの神社で始まった花手水が、評判を呼んでいることに注目した行田市観光協会（現：行田おもてなし観光局）は、参拝者を地域全体でもてなしたいと模索。商店や民家の軒先に花手水を飾るイベントの開催を企画した。

強い日差しが照り付ける真夏、企画を成功させたいと考えた同協会の職員たちは、行田八幡神社周辺の商店を１軒１軒訪問。花手水を飾る器を用意し、地元の人々に協力を呼び掛けた。

同年 10月、行田中心街の新しいもてなしの形、行田『花手水ｗｅｅｋ』がスタート。回を重ねるごとに賛同者も増え、新型コロナウイルスの影響で閑散としたまちに、人々の笑顔が少しずつ戻ってきたのである。

フリモARで、ライトアップの様子が見られます

行田市内の参加店に置かれている行田花手水week散策マップ。ＳＮＳのおすすめスポットや、観光ポイントも明記されている

行田おもてなし観光局
事務局長**富山 紀和**さん

行田八幡神社
禰宜**松岡 宏聡**さん

地元に活気を呼び戻した花手水ｗｅｅｋの魅力

現在、通常の月は１日から14日まで、１月と11月は15日から月末にかけ、期間限定で開催している同イベント。参加者はそれぞれ創意工夫を凝らし、行き交う人々を楽しませている。

事務局を務める行田おもてなし観光局は、散策マップを準備し、見所を紹介。来訪者は行田八幡神社や忍城、観光物産館ぶらっと♪ぎょうだなどのＳＮＳおすすめスポットを回りながら、地元の飲食店や土産処に立ち寄れる仕組みだ。

また、イベントを周知するため、行田市観光協会では昨年 11月から２カ月間にわたってインスタグラムを利用したキャンペーンも展開。「#行田花手水ｗｅｅｋ」のハッシュタグを付けた写真をＳＮＳに投稿する人が増え、多くのメディアでも取り上げられるようになった。「皆さんに協力していただいたおかげで、地元に活気が出てきました」と、同局の事務局長、富山紀和さんは目を細める。

さらに、イベントを盛り上げるため、今年４月からは月１回のライトアップイベントも開催。「希望の光」をテーマに掲げた同イベントは、夜の行田市を幻想的に彩り、昼間とは違う景色を楽しませてくれる。

「花手水のもたらす不思議なパワーで商店街の結束も強まり、自主的に参加したいと言ってくださる人が増えてきました」と富山さんは、感謝の思いを話す。回を重ねるたびに花手水のクオリティーも上がり、「ますますイベントが盛り上がっています」とほほ笑む。

「参拝者に癒しを届けたい」と始まった行田八幡神社の花手水は今、50カ所以上に拡大。まちの新たな観光資源として、知名度アップにも結びつつある。

「多くの皆様に共感いただき、地域のお役に立つことができ、感謝しています」と、松岡禰宜は笑みを浮かべる。古くから心の拠り所として地元に尽くしてきた同神社の思いが、人々に多くの笑顔をもたらしたのも、喜ばしい限りだと明かしてくれた。

花を愛でながらのんびりと歩けば、これまで気付かなかったまちの新しい魅力が発見できる。花で広がるもてなしの心に触れればきっと、思わず笑みがこぼれるはずだ。

がん封じ、ぼけ封じ、虫封じなど、病魔を閉じ込める封じの宮として知られている行田八幡神社

行田『花手水week』

- 開催日／毎月1日～14日
  (1月と11月は15日から月末まで)
  ※店舗定休日、天候等により展示していない場合もあり

ライトアップイベント「希望の光」(月1回開催)
次回予定日／7月3日(土)
日没～20:30

【開催場所】
- メーン会場／行田八幡神社、忍城址、前玉神社
- その他会場
  忍城址及び行田八幡神社周辺エリアの商店・民家

- 問い合わせ／TEL.048-577-8442(行田おもてなし観光局)
  WEB／https://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/hanachozu.html

フリモARアプリをダウンロード
App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう で『フリモAR』を検索
※AppleおよびAppleロゴは米国その他で登録されたApple Inc. の商標です。
App Store®はApple Inc. のサービスマークです
※Google Play および Google Play ロゴは Google Inc. の商標です

文／佐藤京子　写真／篠原亨　写真提供／行田おもてなし観光局　デザイン／松浦亜樹